

## 2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	NPOが新しい活動様式を生み出す事業
事業名 副題	withコロナ時代新しい生活様式にむけて
対象地域	全国
団体名	公益社団法人日本サードセクター経営者協会
代表者名	代表理事 田島 誠一 代表理事 後 房雄
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動；①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援；②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援、2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動；④働くことが困難な人への支援、3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動；⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
事業の概要	感染予防に気をつけつつこれまでの活動を続けるだけでは限界があり、ICTを活用するだけでは十分な成果をあげることが困難であり、とにかく自粛でなく、ウイズコロナ時代において、医療や感染予防の専門家の助言を受けながら、サービス受益者・実行団体・資金分配団体・指定活用団体が連携・協力し、方策を考え選択し、対面や濃厚接触によって成果を出してきた分野において新しい活動様式を積極的に生み出していく。重症化の危険の高い高齢者への影響は確実にでると思われる。制度外サービスを実践してきたNPOの専門性を活かし新しい制度外サービスを生み出すが求められており、そのような潜在力をもつ団体を対象に必要な支援を行っていく。
事業期間	1年
助成額 (円)	33,000,000

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい活動様式の開発は、チャレンジングで重要な取り組みと考えます。</li> <li>・課題把握と事業エリアの設定・設計は、適切と思われれます。</li> <li>・単なる資金援助にとどまらず、その過程でコロナ禍における新しい活動様式を創出しようという取り組みは、大変意味のあるものと思われれます。</li> <li>・過去の十分な助成実績を踏まえてより実効性のある課題の明確化などが求められると思います。</li> <li>・感染症の専門家の派遣のみで活動様式の変革が進むイメージがやや弱く感じました。</li> <li>・当該団体が認定するコンサルタントの仕事のための事業にならないよう、また、実行団体の過度な負担にならないよう、伴走支援の在り方を検討いただきたいと考えます。</li> </ul>
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年8月中旬）のものです。